

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名【新】指導主事用端末整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会義務教育課小中教科教育係 電話番号：058-272-1111(内8593)

E-mail：c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,288千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,288	0	0	0	0	0	0	0	2,288
決定額	2,288	0	0	0	0	0	0	0	2,288

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和3年度にGIGAスクール構想による、多様な学びに応じた指導のため、教育事務所及び義務教育課の指導主事に端末を整備してきた。

教育事務所及び義務教育課指導主事による訪問事業や研修事業等での積極的な活用を進めていく中で、端末整備から5年が経過し、経年劣化や不具合の発生などが生じているため、計画的な更新整備・管理を行っていく。

(2) 事業内容

- ・現在の指導主事用のsurface 4 3台すべてが、5年以上経過しているため、令和8年度に、必要更新台数を更新し、年度途中での修理の必要がないような環境を整える。
- ・R8, R9, R10で、指導主事の校務用パソコンがタブレット型に順次更新する。（情報システム課調達）しかし、タブレット型パソコンで対応不可能な使用内容の部分は、現在のsurfaceの利用が必要になる。また、研修中に校務用パソコンが使用できなくなる不都合が発生するため、校務用パソコンとは別の端末が必要である。
- ・タブレット型パソコンで対応不可能な使用内容は、ICT環境の違う市町村立の教員を対象にしたオンライン会議・研修、児童生徒支援における資料共有を伴う操作である。市町村立学校の教員や児童生徒とオンラインでつなぐ際、来年以降もWebexを利用するため、資料共有に不都合が起きることは、令和7年度に先行支給された端末で実証済みである。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	2,288	surface 13台の購入
合計	2,288	

決定額の考え方

surface単価 端末購入費・・・154,000円 端末設定費・・・22,000円
必要更新台数・・・13台
(内訳 岐阜・西濃・美濃・可茂・東濃・飛騨教育事務所：各2台、義務教育課：1台)

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
 - 施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
 - 8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成
 - 9 ICTを利活用できる力の育成
 - 10 科学技術・情報技術やものづくりへの関心の醸成、起業家精神等の育成

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童生徒一人一人の学力を育むため、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のより一層の具現化・深化を進め、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにする子ども主体の授業改善や教材開発等の充実、普及を図る。

教育におけるICTの利活用にあたって、活用の具体や利便性、留意点等について実践研究や検証を行い、実践事例や成果、課題について普及を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

一人一人の児童生徒の確かな学力を育成し、多様な個性の伸長を図るとともに、全教科において取り組む事業であるため、指標の設定にそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 5 年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の全小・中学校の教員を対象に、学習評価の有識者からの研修を行い、学習評価の基本的な考え方等を学んだ。また、研究指定校での実践について、実践発表会を行い、普及を図った。 ・ 教育データ利活用推進校を有識者が訪問し、指導助言をしたり、学びの個別化や授業改善のためのリーフレットを配布した。 ・ 各種コンテストにおいて出品数や参加者数が増加傾向にあり、児童生徒の興味関心や優れた能力をより一層伸ばすことができた。 <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>・現行学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めてきており、次期学習指導要領の改訂の議論においても、より一層の具現化・深化を図り、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにしていくことが求められてくる。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	